

第 5 回「初期日本語教室での実践のふりかえり」

ふりかえりシート まとめ

【参加者】 16 人 ※スタッフ 4 人（県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人）を含まない。
（内訳）日本語支援者 8 人（磐田市関係 2 人、菊川市関係 6 人）
国際交流協会スタッフ 2 人（磐田国際交流協会 1 人、袋井国際交流協会 1 人）
行政職員 6 人（磐田市 1 人、菊川市 2 人、袋井市 3 人）

【回収数】 7 枚

【1】講座の内容はいかがでしたか。

	よかった 5	4	3	2	よくなかった 1
〈集計〉	3 人	4 人	0 人	0 人	0 人

〈理由〉

- ・難しいことは何もなくよく理解できて、今後の活動に生かれます。
- ・磐田市の様子がきけたこと。

【2】内容はわかりやすかったですか。

	わかりやすかった 5	4	3	2	わかりにくかった 1
〈集計〉	5 人	1 人	1 人	0 人	0 人

〈理由〉

- ・共感できる話だった。

●気づいたこと、感じたこと

〈磐田市関係者〉

- ・情報共有は有効だった。（澤野孝光：（一社）磐田国際交流協会）

〈菊川市関係者〉

- ・1～4 回の反省をかねて、今後の改善案が出せたことはよかった。（太田光輝：菊川市国際交流協会）
- ・ふり返しを行うことで、改めて現状を考えることができました。磐田市さんの良い点も吸収して、菊川市の教室も、後半をより実りある活動ができるように、創意・工夫をしていきたいと思

います。(坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室)

- ・言葉がわからなかったら、今後はできるかぎり直接法を取り入れて、コミュニケーションをしていきたいです。それが今の私達にとって重要なことであると思います。(鈴木耕二：菊川市国際交流協会)
- ・お互いの現状が、わかってよかった。お互いの課題から、自らの課題が、より、明確にできた。(高山晃：袋井国際交流協会)
- ・各市の特徴があるんだと思いました。菊川市では初めての試みであり、手探りですが、皆が良い緊張感をもっているように感じます。(望月香：虹の架け橋菊川小笠教室)
- ・学習者とボランティアの一定数確保はとても難しい。(萩山美稀：菊川市地域支援課)

●よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

〈菊川市関係者〉

- ・学校の生徒の場合も、特にすぐに日本語能力を向上させてやらないと授業についていけなくなるので大変です。(鈴木耕二：菊川市国際交流協会)